



「ライン河畔より」

「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」

ヨハネによる福音書 21 章 6 節

ホームページ <http://www.ryokosasaki-missionary.com>
 ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ
<http://www.ryokosasaki-missionary.com><http://koelnbonn.jp/>
 佐々木良子宣教師ドイツ連絡先

Breslauer Str.26, 50858 Köln Germany Tel: +49 1512910 6278 E-mail: r310130s@yahoo.co.jp



ご挨拶 Guten Tag! 主の聖名を賛美いたします



いつもお祈りとお支えを頂き有難うございます。コロナ禍と猛暑の日々を、主のお守りの内に歩めますようにお祈りしております。今年のドイツは凌ぎやすいと思っていた矢先、突如 40 度近い猛暑に見舞われています。「ついに来たか!」と、クーラーがなくても昨年の体験を生かし工夫して過ごしています。22 時頃まで明るかった夜空も陽が沈むのが急速に早くなり、季節は着実に秋に移行しているので、酷暑でも残り少ない夏を噛みしめています。

ケルンでの宣教活動は 5 年目に入りました。このように支えられているのは、主のお導きと共に多くの方々の篤いお祈りと尊いお献げものによるものです。特に今年はコロナ禍の困難な状況にも拘わらず、海外にも心を寄せてくださりとても励まされています。混沌とした「今」を共有できる信仰の友と一緒に歩んでくださっているため、ネガティブになりそうな時、その思いを振り切る

ことができます。一日も早くコロナのトンネルから抜け出して、この時をも導いておられる神が備えた新しい世界で、安心して過ごすことができるようにと、祈るばかりです。

延長された任期も早いもので残すところ実質的には 1 年余りとなりました。主のお導きを祈り、又、今年に入ってから役員会にて今後のことを検討し、再延長・2025 年 3 月末という結論に至り、現在は様々なことを調整中です。7 月 12 日の礼拝後には、教会の方々にこれまでの経緯をお伝えし、9 月の臨時総会にて正式な決定となります。

提案されている延長は教会も私も一大覚悟をもって臨みました。教会の将来の歩みを例えると、何の設備も持てない小さな手漕ぎボートが、嵐の中で大海原に向かってゆくようなものです。今後は更に人的にも経済的にも、紛れもなく非常に厳しい状況になります。しかし教会としては、今迄蓄えていた全てのお献げものを使い果たすことも辞さない覚悟で、牧師である私の生活を支えてくださるという決意を固め、私はその事にお応えしたいという思いに駆られました。

とはいうものの、これらの課題を考えると怯む時があります。しかし、主が与えてくださったかけがえのないチャレンジとして積極的に受け止め、精一杯お仕えしたいと願っています。船長はイエス様ですし、神様は行き詰まり・途方にくれている者を見捨てるお方ではありませんから、主と教会の方々と共に新しい一歩を踏み出したいと願っています。教会の方々も主に期待して前を向いています。ドイツに私が派遣されたのはこのチャレンジの為であったかと、5 年目にして主のご計画が見えたような気がしています。教会は新しい段階に入ってきたことを感じています。

イエス様が十字架に架けられた後、弟子たちはかつての生活の場に戻り、漁をするしかありませんでした。そこで主が弟子たちに言われた「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」(ヨハネによる福音書 21 章 6 節)との御言葉が与えられ「今、あなたの遣わされているケルンの地にもう一度、網を下ろしなさい」と、私に語られていることを確信しました。主の御言葉を信じて網をひたすら下ろし続け、結果は主にお任せします。この為に是非ともお祈りをお願いいたします。

Viel Glück

日本での宣教報告

ケルン・ボン日本語教会の皆様のご理解と近隣教会の牧師先生方のご協力を頂いて、毎年 3 月頃に約 1 ヶ月間、帰国しています。目的は支援して下さっている方々にご挨拶を兼ねて、ドイツでの働きを報告するためです。又、同時に海外教会の働きを多くの方々に知って頂き、お祈りと共に宣教の業に加わって頂きたいという願いがあります。

宣教の働きは、私一人だけでは何もできません。背後で祈り支えて下さっている、目には見えない大きな働きによって前進して参ります。そのようにして 4 年間、皆様と一緒に主の御業を見て頂きながら、宣教活動が支えられていることを心から感謝しております。

今年は 2 月 28 日～3 月 28 日迄、多くの教会でご用させて頂きました。本来は 4 月 7 日にドイツに戻る予定でしたが、コロナ禍の影響で予約していた飛行機が欠航となり、急遽予定を早めて戻って参りました。いつも利用している飛行機の最後の便に乗ることができギリギリセーフでした。(因みにこの飛行機は未だに飛ぶ予定はありません。) 予定していた教会のご奉仕をキャンセルせざるを得なくなりご迷惑をかけてしまいましたが、どちらの教会も深い愛をもって見守ってくださいました。

来年も可能であれば 3 月に予定していますが、今の世界状況からは判断し兼ねます。早く収束することに期待しながら、例年通りにドイツでの活動をご報告できますようにお祈りしています。



報告会の様子





～ 海外教会で支えられて～ 張谷廷河兄 ハリガイ タイガ
元ケルン・ボン日本語キリスト教会員
佐々木良子宣教師を支える会 会員

コロナ禍で主日礼拝にもなかなか集まることができない今、聖霊の慰めが皆さんのいるところを安息の場所にしてくださるよう祈ります。神様は私達が想像できない試練を時に与えてくださいますが、それは我々を強くし、神様に近づけることを望んでいることだと信じます。

私は生まれた韓国で中学生の時まで暮らし、その後、中国をはじめアメリカ、日本とドイツで生活をしていました。仕事柄や旅行好きということもあり、数週間から数ヶ月間の滞在をいれると、少なくとも地球上の全ての大陸は直接感じることができました。その中、私を支えてくれたのは、現地の教会であります。自分が慣れ親しんだ地を離れ、違う環境下で暮らすということは、新たな経験から生まれる楽しさや、チャレンジ意欲などが伴う反面、今まで当たり前だと思っていたことが突然消え去り、過去への恋しさと小さなことでも簡単に物事が進まないフラストレーションが溜まりがちなものだと思います。

特に今まで囲まれていた家族・友人・組織などから離れ、一人の時間が増えることが多いと思います。この様な心に空いた穴を埋めてくれるのが、現地の教会です。世界中どこに行っても不変である神様の教えと、聖書の言葉が伝えられ共有し、我々の不安を希望に変えてくれます。更に、現地のことを多く経験している教会の兄弟姉妹との交流は、現地への適応はもちろん、新たな世界で学ぶ全てを神様の意図を鑑みた自分の糧にすることができます。

もちろん、多くの現地の教会は様々な困難に直面します。教会の出席者の多くが一時的な滞在なので、教会の基盤を保つことが更に難しいです。財務的な面でも、現地コミュニティとの融合にも、時間と労力がかかるなど、正にその教会の存在自体を守り続ける日々になっていることも多くあります。時には、違う背景を持つ人が集まることが多いことから、教会の中で意見の違いや論争が起きたりすることも、現地教会では比較的多い場合があります。

私の妻は、子供の時から家族と共に教会に出席し洗礼を受けている私とは違って、私に出会うまで福音に接したことがありませんでした。2015年に結婚し、当時私が通っていた東京の韓国籍の教会に行きました。私はその東京の現地教会で、似た状況に置かれている方々と交流を深めていました。ここで妻は初めて聖書を読み、イエス様について学ぶ機会を得られました。また国際結婚についてや、教会に来たことのない日本人にも基本的なところから教えてくれ、助けられたところがありました。

2016年、結婚間もなくしてドイツのケルンで駐在が始まりました。私は自分の信仰生活よりも、妻と家族が救われることを一番に思い、ケルン・ボン日本語キリスト教会に出席し、少ない人数でありながら、長年に亘ってこの教会とその伝統を大事にしていらっしゃる皆さんに出会うことができました。そして、私がドイツに着任した2016年から、ドイツで宣教活動を始めた佐々木先生にも会うことができました。皆さんの生活の面でのアドバイスを頂くのはもちろん、妻は毎週、佐々木先生と聖書の勉強をして、少しずつ神様の存在とイエス様の歩みを学ぶことができました。最初は世間的にも有名な聖書の物語に興味を持って学んだりして、例えばサムソンの髪の毛の話などしたのを覚えています。子供もその影響を少しずつ受けることができ、今後も共に学び成長することを祈っています。

またドイツ滞在中、学びを重ねた結果、佐々木先生から洗礼を受けることになりました。妻と息子が洗礼を受けて神様に一歩近づいたことは私のドイツでの一番の喜びとも言えます。佐々木先生とケルン・ボン日本語キリスト教会の皆さんがいなければ、たどり着くことのできない道でした。この機会を通して、皆さんに感謝の言葉を伝えたいです。コロナの影響で人の移動が難しくなり、現地教会は厳しい状況は続きますが、神様の祝福が皆さんと共にあることを信じます。

これまでの歩み

《 礼拝 》 3月22日 スカイプ礼拝開始

7月12日 月に1回のペースで会堂にて再開・オンライン同時配信

★ご高齢の方が多き教会ですが、お子さんやお孫さん方に助けられてスカイプを繋げられ皆さんが参加できているので、教会の励みとなっています。

★オンラインにより遠くに引っ越しされた方、更に日本からも参加されています。

《 聖書の学び会 祈禱会 》 4月8日 スカイプにて毎週水曜日

7月12日から第1・3水曜日は牧師宅にて 第2・4水曜日はスカイプにて

★お借りしているボンヘッファー教会では多くの規制があるので、会堂での礼拝は12月迄

月に一度の予定です。但し、讚美歌を賛美できる許可が下りて、様々なことが緩和された時点で検討します。

★子どもの礼拝はソーシャルディスタンスがとれないので、暫く休会です。



4カ月振りの再会

《 中止となった集会など 》 来年に希望をもって!!!

6月16日 子どもと大人の合同野外礼拝 広島・長崎公園
6月21日 ボンヘッファー教会合同礼拝 教会通りのバザー
7月25日～28日 ヨーロッパ・キリスト者のつどい

10月31日 バザー
11月2日～5日 欧州教職者研修会

ちよこっとコーナー

ドライブシアターによる礼拝

4月12日のイースターは、コロナ禍のため会堂に集まって礼拝をお献げすることは禁止されていました。そこで駐車場などの野外スペースに巨大スクリーンを設置して、車の中で礼拝を献げている様子がテレビで放映されていました。語る牧師は外で、聴衆は車の中です。「アーメン」の時は、車のヘッドライトでチカチカと応答し、唱和していました。礼拝は様々な形で行えるものだと、感動しながら見ていました。

他の番組では、大きな会堂の中で牧師一人が説教を語っている様子が放映され、世界で起きている現実を目の当たりにしました。



ドイツは太っ腹

<消費税>

7月1日～12月末までの予定で税率が引き下げられました。
 標準税率 19%→16%
 食料品等の軽減税率 7%→5%
 そうすると一世帯あたり、日本円にするとおよそ14,000円、家計の負担が減るそうです。食料品などを購入した時、今迄よりも多く購入できた気がしています。

<ケルン市中距離鉄道からの夏のプレゼント>

定期を持っている人には、6月29日～8月11日迄の夏休み期間、平日はケルン市内の電車・バスは無料で乗り放題。更に週末は、私たちが居住しているノルトライン＝ヴェストファーレン州全域で無料で乗り放題というサプライズがありました。ステイホームで、定期を使用できなかった分の穴埋めでしょうか。人が動けば経済効果も期待でき、グッドアイデア！私も便乗して、教会の方とお友だちとで、ミニ遠足を楽しみ、ぶどう畑をお散歩して、リフレッシュしてきました！

オンライン同時配信に至るには 天使からの電話

会堂はインターネット環境が整っていない、と誰もが思い込んでおり、ポータブルWi-Fiを購入しようとしていた矢先に、ネット環境があることを知りました。

教会をお借りしているボンハッファー教会の牧師先生が、私の自宅に突如電話を下されたことにより判明しました。通常はメールでのやりとりですが、何故かその時は初めての電話でした。このことは恐らく、聖霊なる神様のお働きだったと思います。

このように感謝な電話でしたが、ドイツ語の苦手な私にとっては冷や汗でした。電話は心の準備もなく、咄嗟に内容を把握し、即座に回答しないとなりませんから、頭はグルグルとフル回転です。ドイツ語は生活の場で慣れるしかありません。その分、私の心臓は弱っていくように思うのですが・・・。

これからの課題

少人数の教会ですので、全員がそれぞれのご奉仕を担ってくださっています。中にはご高齢に伴い、数年後は今の状態を保つことが、難しくなってくる方もおられます。

今後の教会の歩みをどのように進めていくのが良いのか、牧師主体ではなく、教会の一人ひとりが真剣に祈り求めることが、キーポイントになると思っています。

訓練真っ最中

♥スカイプ礼拝に切り替えたと同時に、説教原稿をメール配信することにしました。自分で思った事ですが、実は一言一句を全て文章化することは、苦手なので始めた頃はプレッシャーになっていました。今も変わらずですが、「これが、今、私ができる最善のこと」と、自分に対して叱咤激励の日々です。

♥スカイプ礼拝は、司式者の方と最後にお互いに挨拶する時以外は音声のみです。ですので説教の時は、会衆が見えずパソコンに向かって語るのも、私は孤独を感じ、同時に本当に御言葉が伝わっているのだろうか、語り終えるまで緊張と余分な力が入っているのを感じています。大分慣れてきましたが、顔と顔を合わせての礼拝とは違うものです・・・。

♥4ヵ月振り、皆さんと会堂で礼拝をお献げでき感動しました。しかし、会堂使用の際の様々な規制の一つで、時間の短縮が掲げられているので、説教中は時間ばかり気になってしまいました。

ということで四苦八苦の日々ですが、この体験も主から頂いたお恵みだと思って受け取っています。

どんなときでも

♥言葉の問題からスカイプ礼拝に参加できない、ドイツ人、オランダ人の方を、どのようにフォローしていったらよいか思い巡らしていました。突然、毎日のデボーションの聖書箇所をドイツ語でメールすることを示されて、毎朝配信しています。このことにより、今迄よりも彼女たちとの間が近くなりました。私自身もドイツ語の勉強にもなりますし、一石二鳥です。コロナ禍がなかったら、このような関係をもつことはできませんでした・・・。

♥教会のメンバーの中には、高校生が一人いて同世代の信仰の友が与えられる事を願っていました。先日、欧州に居住している若い人たちの集いが、オンラインを通して開催され、参加することができました。お友だちもできて本人も喜んでいました。本来なら夏休みに日本へ行く予定でしたが、この状況でキャンセルになったお陰です。現在の状況は負の要素ばかりではないことを、様々な場面で教えられています。

1年、3年、5年

皆様にお祈り頂いた脳腫瘍の手術は、遠い過去のように思っていますが、つい先日、1年後の定期検診に行き参りました。4月に予約していましたが、コロナウィルスの感染リスクを避けて8月となりました。勿論、何の問題もなく感謝でいっぱいです。

最初の3年は毎年の検診、その後は3年に1回、そして、5年後に検査をして異常がなければ卒業です。このように慎重に丁寧に見て頂くことができ、とても心強いです。

脳腫瘍の原因は解明されておらず、気をつけようがありませんので全てを主にお任せです。お任せできるお方がおられ、主のお守りの内にあることは何と幸いですでしょうか。

どうぞお祈りください

- 主の言葉が必ず実現すると信じて、教会の方々と共に心一つとなって、祈り続けてゆくことができますように
- 私自身のモチベーションが保ち続けていけますように
- この時をも主が用いてくださることに期待して、今できることの知恵を主から与えられますように

主に在ってこの1年、皆様の御加禱とあたたかいご支援を心から感謝いたします。

2019年4月～2020年3月		(単位:円)	
収	入	支	出
月額献金	4,024,000	宣教師支援金	2,901,360
特別献金	47,000	社会保険料等	318,210
クリスマス献金	173,000	クリスマス支援	365,340
一時帰国宣教感謝献金	389,200	支援金(クリスマス)	173,000
指定献金(イースター他)	65,000	支援金(イースター)	10,000
夏期感謝献金	1,000	支援金(一時帰国旅費等)	380,828
医療費支援	50,000	支援金(お見舞い)	55,000
お見舞い献金	55,000	チャリティコンサート費用	105,514
ミニバザー売上	184,260	教会感謝献金	90,000
チャリティコンサート献金	112,860	ニュースレター発行	90,469
雑収入(受取利息)	24	ミニバザー費用	87,894
		事務通信費	66,275
		委員会費	3,402
		退職手当積立金	1,454,000
		雑費(振込手数料)	38,193
小計	5,101,344	小計	6,139,485
前年度繰越金	9,474,664	次年度繰越金	8,436,523
合計	14,576,008	合計	14,576,008

2020年4月～2020年7月		(単位:円)	
収	入	支	出
支援献金	1,030,000	宣教師支援金	954,100
感謝献金	10,000	社会保険料等	171,560
お見舞い献金	100,000	一時帰国宣教費用	36,532
特別献金	6,000	支援金(お見舞い)	100,000
イースター献金	11,000	支援金(医療費)	50,000
雑収入(受取利息)	20	支援金(PC他)	225,896
		支援金(イースター)	11,000
		教会感謝献金	20,000
		事務通信費	5,370
		雑費(振込手数料)	6,345
		雑費(郵送通知料)	3,080
小計	1,157,020	小計	1,583,883
前年度繰越金	8,436,523	次月繰越金	8,009,660
合計	9,593,543	合計	9,593,543

献金者 ご芳名(敬称略 五十音順) 2020年2月1日～2020年7月31日

支援献金

相原美枝子 朝位真士 朝位フミ子 阿部順子 石井泰子 石川 徹 石川真知子 糸魚川喜一 伊藤 愛 伊藤いく子 伊東みどり 伊藤祐子 伊東理津子 井深裕子 今泉聖美 上杉洋子 上杉真子 牛山輝代 内城節子 浦川 肇 浦川恵子 江坂宏子 榎本明子 榎本康治 遠藤正一 大熊眞弓 大作 寿 大橋 章 大淵美智子 岡崎 響 小塩トシ子 尾城信雄 尾城素子 越智香歩理 鹿郷雄通 片石やすこ 片山まどか 桂川信子 加藤悦子 加藤弥生 金子英市 金坂久子 金森勝芳 神尾祐美子 川田裕生 川浪聖志 川浪麻理子 久多良木和夫 久多良木志津子 北野節夫 北野順子 北野 信 北野 拓 木下宣世 木原恵子 空閑信憲 熊谷千鶴子 栗原初音 栗原愛子 黒澤愛子 黒沢龍吉 黒沢咲子 小泉 誠 小泉眞理 河野有紀 小西妙子 小林興司 小林信夫 小宮房江 齋藤悦夫 齋藤喜江子 斉藤幸子 佐伯千恵子 榮 直美 相良佳子 佐久間弘子 佐久間文雄 櫻井淳子 佐藤恒夫 佐藤節子 佐藤フデ子 佐藤 誠 佐藤保太郎 佐野明子 澤田 武 澤田直子 澤田大河 澤田拓生 汐碓直美 部 利勝 部 清江 篠原照美 島田雅子 嶋 優子 嶋本 修 嶋本洋子 清水 潔 白井 均 白井昭子 神 和子 神保ふみ子 鈴木 勇 鈴木 啓 鈴木恵子 鈴木洋史 鈴木敏男 鈴木初子 鈴木優子 春原禎光 隅野 瞳 曾根邦彦 高野加奈子 高橋みどり 高花富夫 瀧田茂子 田島俱子 田尻可納子 蓼沼百合子 田村久美子 辻浦健久 都築つゑ子 都築英夫 嶋巢香徳利 嶋巢和徳 永井美智子 永岡孝子 中西美紀子 中村廣子 ナヅカトシミツ 中山良江 西海満希子 西村倭子 抜井太一郎 抜井教子 布村伸一 沼 みどり 野村啓二 蓮沼龍子 橋本いづみ 林 小百合 原嶋和夫 原田時近 原田明子 張谷延河 張谷麻帆 深沢 修 福田芳雄 藤野洋子 藤本邦彦 藤本幸子 藤本三四四 藤本律子 藤森知子 藤谷正一 星野 環 細田多恵子 本田昌義 明瀬眞弓 松井美代子 松丸香世子 松本幸子 皆川昌子 宮崎勇 宮崎美代子 宮本容子 村尾きよ子 村松紀子 物井恵一 物井ますみ 森 浩 森川頌子 八重樫幸栄 八重樫福子 柳川義也 柳瀬明子 八巻君子 山口スミエ 山口紀子 山崎広子 山下 誠 山根芳枝 山本房枝 横内希久子 横田光江 横山義孝 横山勝よ 吉田陽子 吉本真理 嘉本 保 和海豊子 渡辺敬子 渡辺すみ子 渡部裕子 和田洋子

荒川教会 糸満シーサイドチャペル 亀戸教会 柏教会 京都復興教会 神戸再度筋教会 麦の会 小松川教会(恒励会)(婦人会) 塩谷一粒教会 下谷教会 清水が丘教会海外宣教会 仙台青葉荘教会 天門教会 日本キリスト伝道会 ホ群首都圏教師会 三崎町教会

クリスマス献金 亀戸教会 京都復興教会 三軒茶屋教会 イースター献金 嶋巢香徳利 渡部裕子

特別献金 高花富夫 お見舞い献金 山根芳枝 礼拝感謝 嶋巢香徳利

宣教報告が守られますように 物井恵一 物井ますみ 医療費支援 日本基督教団世界宣教委員会 4年無事感謝 山根芳枝

一時帰国宣教報告感謝(2/28～3/28)

浅草教会 京都復興教会 志木教会 喬木教会 東京新生教会 西宮一麦教会 松戸教会 こころの友伝道・関西支部 天野シゲ子 潮 純子 石井淑子 梅村 新 梅村信子 嶋 優子 佐藤有美 清水 潔 清水宏子 鈴木優子 高野加奈子 中原 健 星野 環 山本史子 横山義孝 横山静子 李 善恵

献品 北野順子 小宮房江 鈴木優子 蓼沼百合子 橋本いづみ 永井美智子 西村倭子 物井ますみ 山本史子

お名前が洩れた方がありましたらお知らせさせていただきますようお願いいたします。

会計監査報告 佐々木良子宣教師を支える会

佐々木良子宣教師を支える会の2019年4月1日から2020年3月31日までの会計決算について関係書類、銀行預金及び郵便振替などを慎重に監査いたしました。その結果、事業の執行及び収支決算は適正に処理されており、支援団体としての会計が適性に維持管理されていることを認めました。ここに御報告いたします。

監査人

八重樫 幸栄 (印)

2020年7月26日

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、教会の礼拝に及んでおり、私の所属している小松川教会もようやく5月31日のペンテコステ記念礼拝から教会でお届けしております。イエス様のお体である教会で兄弟姉妹とともに礼拝をお献げできることがいかに幸いで、大きな恵みを頂いているか、あらためて悔い改めと感謝の時となりました。ウイルス感染の終息、感染された方の癒し、そして、皆様がウイルス感染から守られ、皆様の教会の福音宣教の働きが一層前進しますように祈ります。引き続き、支える会の働きのためにお祈りとご支援をお願いいたします。(SK)

連絡先 「佐々木良子宣教師を支える会」会長 物井恵一
〒134-0081 東京都江戸川区北葛西 4-3-9
小松川教会内
Tel:03-3869-5261 Fax:03-3869-5262
Email: support@ryokosasaki-missionary.com

送金先

郵便振替: 00120-3-450845
銀行口座 三菱UFJ銀行小松川支店
店番463(普通)口座0113856
口座名義: 佐々木良子宣教師を支える会 会長 物井恵一
定期的月額献金一口1000円から・随時自由献金